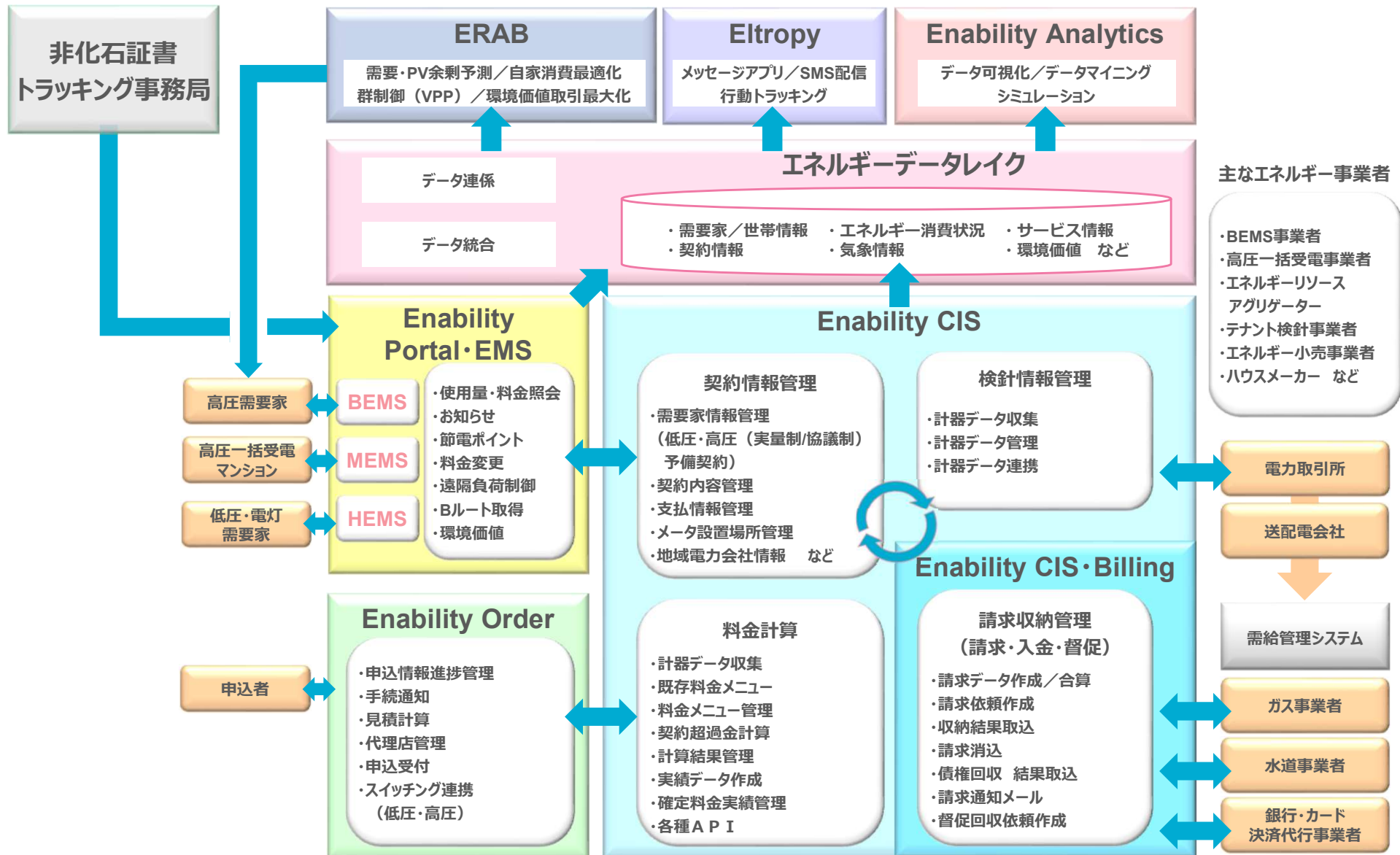


電力小売クラウドサービス “Enability”ご紹介資料

2021年6月
日本ユニシス株式会社

Enability (エナビリティ) とは

- 電力小売クラウドソリューション **Enability(エナビリティ)シリーズは、日本ユニシスが培った電力業界でのシステム構築ノウハウを集約したクラウドサービス**です。





新電力様向けクラウドソリューション
Enability (エナビリティ)

- Enability CIS, Order, Portalの3サービスにより、スイッチング受付から顧客管理、料金計算、見える化まで電力小売ビジネスに必要な機能をワンストップで提供いたします。

信頼性：旧一般電気事業者、大手新電力・都市ガス事業者・高圧一括受電事業者含む21社に採用

柔軟性：日本ユニシス自社開発。貴社ビジネスモデルに合わせて自由にカスタマイズが可能

経済性：ビジネス拡大に合わせた価格体系、必要サービスのみでの利用が可能

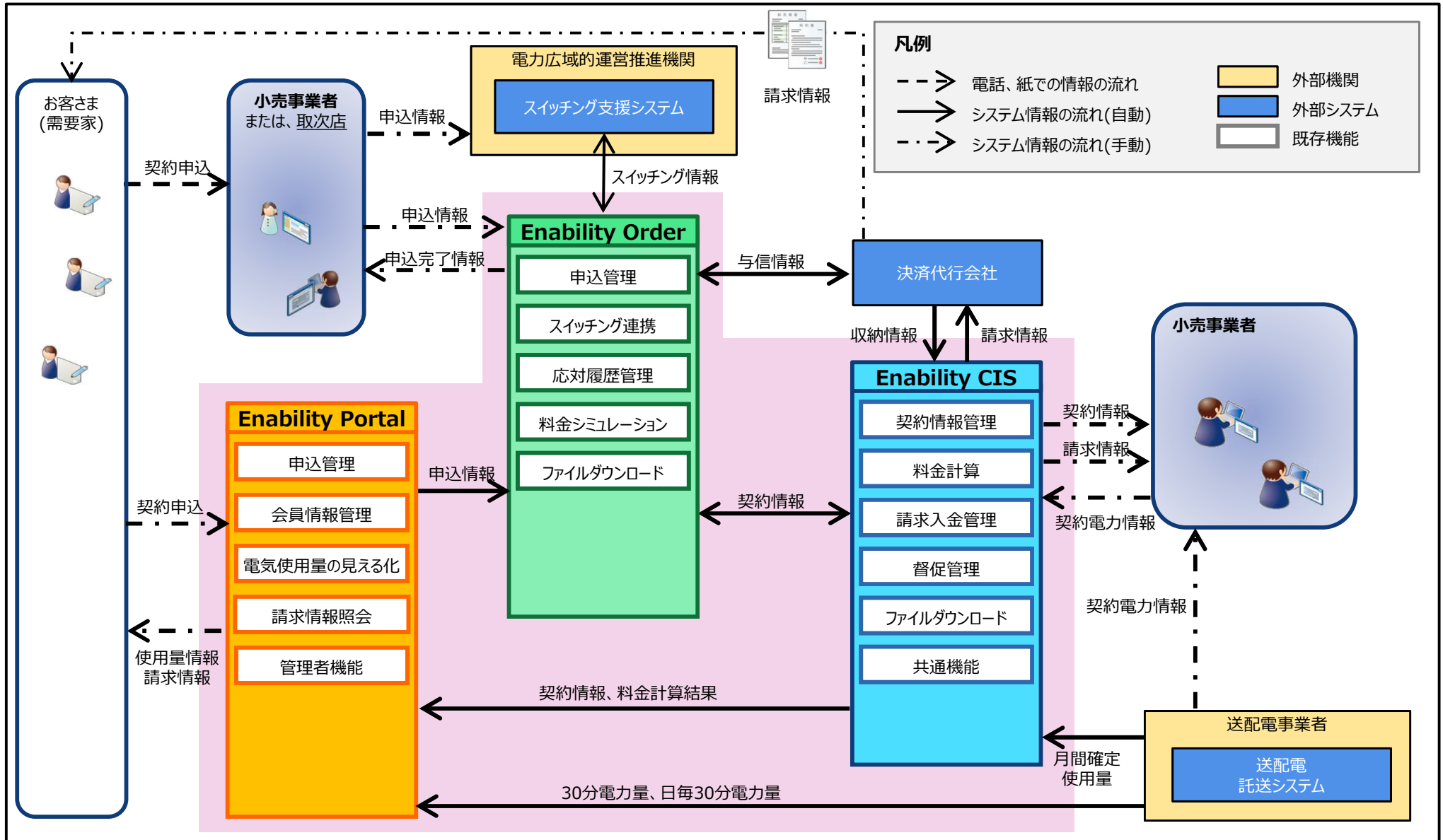
機能性：個人需要家のみならず、法人需要家を想定したシステム設計(複数施設のまとめ請求機能等)

拡張性：今後の制度対応、高圧料金計算等の機能拡張の開発を継続して実施

(卒FIT (固定価格買い取り制度) 後の買取業務にも標準で対応)



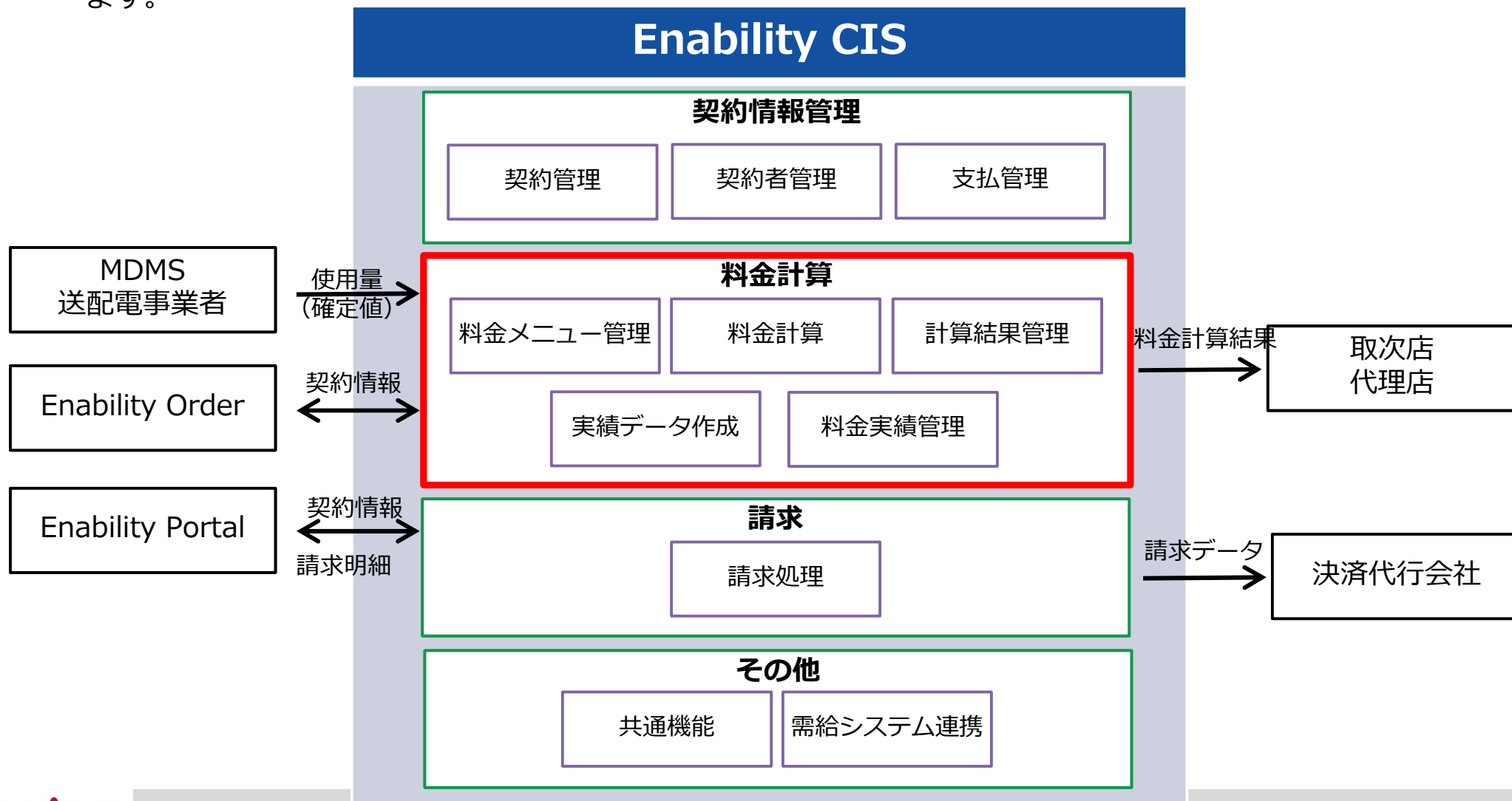
- Enability のシステム全体像は、以下のとおりです。



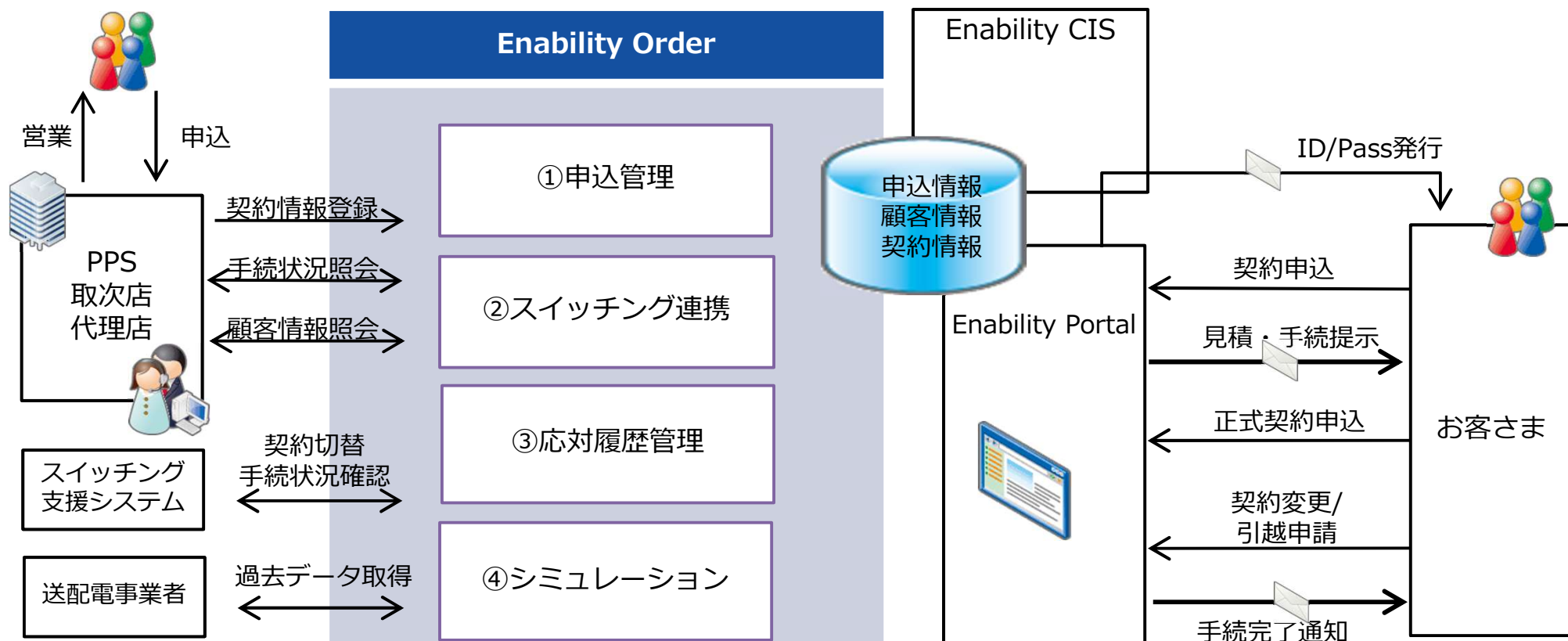
- Enability CIS, Order, Portalにおける主な機能は以下のとおりです。

サービス名	主な機能	機能概要
Enability CIS	契約情報管理	顧客情報、契約情報、支払情報、メータ設置場所情報、需要場所情報から成る5エンティティを活用し、顧客と契約の情報を柔軟に管理します。
	料金計算	使用量データを取り込んで料金計算を実施します。三段階料金、季節別料金、時間帯別料金、休日祝日別料金を基本に、多様な料金メニューに対応しており、定額/定率の割引設定や入転居に伴う日割計算などにも対応しています。
	請求入金	クレジットカード払い、口座振替、コンビニ払い、請求書払い（振込み）に対応し、外部の決済代行サービスと連携して請求入金を行います。まとめ請求や合算請求にも対応しています。また、経理用の仕訳情報を記録・集計します。
Enability Order	申込管理 スイッチング連携	顧客からの契約申込を受け付け、スイッチングシステムとの連携を行います。切替完了後、契約情報をEnability CISに登録します。
Enability Portal	顧客ポータル	顧客用のWEBポータルです。新規契約申込、契約内容変更、電力見える化、使用量・料金の照会機能を提供します。

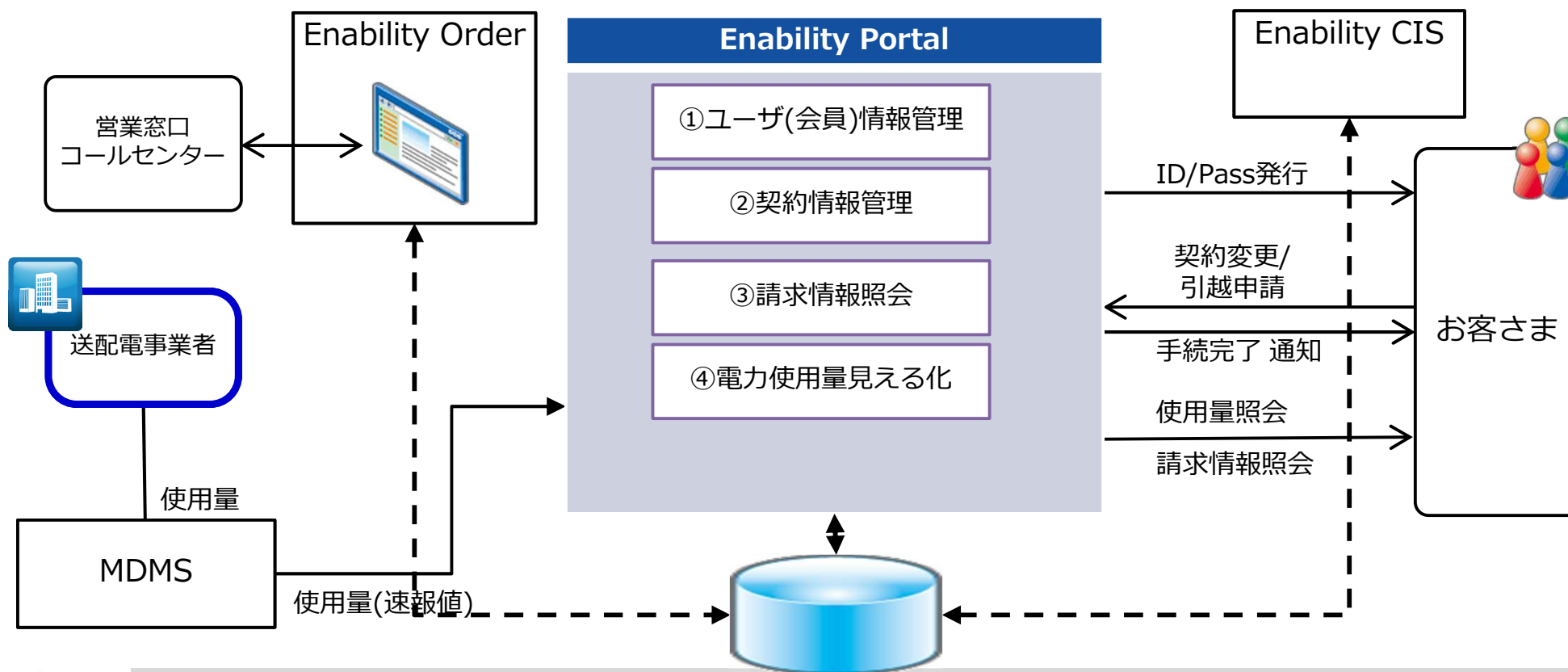
- Enability CISでは、契約情報を管理する「契約情報管理」、電気料金計算を行う「料金計算」、請求情報の作成をする「請求」の3機能群で構成されています。
- **取次店／代理店販売のビジネスモデルを想定**し、料金計算結果を取次店／代理店毎に実施し提供します。
- **料金メニュー毎に異なる約款（日割の条件等）**に対応可能とする柔軟性を持ったシステム設計となっております。



- Enability CIS & Enability Portalと連携し、契約申込、スイッチング連携、応対履歴の管理を行います。
- **複数の小売事業者のクライアント証明書を保持する**ことが可能となっており、他事業者のスイッチング業務を受託する事が可能となります。
- 以下の4つの機能より構成されます。
 - ①申込管理 : お客さまからの契約申込（新規/変更）の管理
 - ②スイッチング連携 : スwitching支援システムとのAPI連携
 - ③応対履歴管理 : お客さまからの問合せを管理
 - ④シミュレーション : 送配電事業者から取得する過去データに基づき、シミュレーション実施



- お客さまに対する情報提供サービスです。電気使用量情報の参照（電気見える化）の他、契約情報の変更申請受付、請求情報（および請求明細情報）の照会を行います。
- 以下の4つの機能より構成されます。
 - ①お客さまポータル : Portalのユーザ(会員)情報を管理する機能
 - ②契約情報管理 : 受給契約の登録、変更申請などを行なう機能
 - ③請求情報照会 : 請求情報(および請求明細情報)の表示
 - ④電気使用量見える化 : 時間毎/日毎/月毎での電気使用量の表示





Enability CISの特長

Enability CISの特長①

誤請求防止 & 業務負荷軽減の仕組み

Foresight in sight

- 送配電事業者から受領する使用量データの不備を始め、**料金計算・請求収納に起因するイレギュラー対応**は、需要家が拡大していくにつれ運用負荷が大きくなってきます。
- Enability CISでは充実した**チェック機能**により、送配電から受領する使用量データ等のチェックを**自動的**に行う事が可能です。
- チェック項目に基づきエラーを検知した場合はユーザに通知されTODO一覧にて管理することで、**運用負荷の軽減、及び需要家への誤請求を防ぐ**事が出来ます。

<チェック項目>

■ 使用量連携チェック

- ① 検針予定日から一定日数経過しても確定使用量が届かない【エラー】
- ② CIS上で保持している供給地点特定番号と一致するものが存在しない【エラー】
- ③ 需給契約開始前および需給契約終了後、需給契約期間外の確定使用量が届いた【エラー】
- ④ 契約期間から判定した算定期間と確定使用量で届いたデータの期間が異なる
- ⑤ 同一地点にて廃止後、再点があるが、廃止分のデータが未到達【警告】
- ⑥ 30分電力量が30kWhを超えた【エラー】
- ⑦ 仕訳コードが“仕訳なし(全量)”以外【エラー】
- ⑧ 不正な計器区分コードが存在する【エラー】
- ⑨ 次回検針日が空白(未設定)、かつ契約終了でない(廃止されていない)【エラー】

■ 確定使用量情報反映チェック

- ① 料金計算済み確定済みの契約に対して、訂正の確定使用量が届いた【エラー】
- ② 供給地点特定番号に対して3つ以上の計器識別番号が存在した【警告】
- ③ 全日指示数が複数存在した【警告】
- ④ 料金計算済み未確定の契約に対して、訂正の確定使用量が届いた【警告】

■ 料金計算チェック

- ① 強制警告を発生させた【警告】
- ② 月額料金がマイナス【警告】
- ③ 指示値と使用量の不一致【警告】



Enability CISの特長①

誤請求防止 & 業務負荷軽減の仕組み

Foresight in sight

- 電気使用量の訂正データを用いて料金計算を行い、訂正前のデータでの料金計算結果との差分がシステム上で算出可能となります。
- システム外でのエクセル等を利用したイレギュラー処理と比較した場合、作業負荷及び作業ミスリスクを大幅に削減する事が可能となります。

[料金再現計算]

[検索条件]

契約番号	E100000319
対象年月 <small>※必須</small>	2016/05 <small>YYYY/MMで入力</small>

計算

[契約主情報]

料金メニュー	従量電灯B	契約電流・容量・電力	30 A
付帯メニュー			

[確定済料金実績]

使用量	金額	基本料金	電力量料金	付帯金額	再エネ賦課金
359 kWh	9,050 円	842.40 円	7,400.66 円	0.00 円	807 円

➡ 前回の料金計算結果

[計算結果]

使用量	金額	基本料金	電力量料金	付帯金額	再エネ賦課金
380 kWh	9,647 円	842.40 円	7,949.60 円	0.00 円	855 円

➡ 訂正データでの料金計算結果

[差分]

※計算式: [差分] = [計算結果] - [確定済料金実績]

使用量	金額	電気料金補正額	再エネ賦課金補正額
21 kWh	597 円	548.94 円	48 円

➡ 次月請求時に加算

Enability CISの特長①

誤請求防止 & 業務負荷軽減の仕組み

Foresight in sight

- 当月の料金計算結果に対して補正が必要な場合に補正額を投入する事が可能です。
- 前頁での計算結果を本機能を利用することで、請求金額を補正出来ます。
- 例えば、前月の振込額に過不足があった場合にも、本機能にて補正出来ます。

【料金】

表示名称		単価(円)	容量・使用量	金額(円)	
基本料金(30A)		842.40	30	842.40	842.40
電力量料金	第1段階(1-120kWh)	19.52	120	2,342.40	2,342.40
	第2段階(121-300kWh)	26.00	180	4,680.00	4,680.00
	第3段階(301kWh-)	30.02	60	1,801.20	1,801.20
	燃料費調整額	-3.88	360	-1,396.80	-1,396.80
再生可能エネルギー発電促進賦課金		2.25	360	810.00	810.00

【補正】

料金再現計算画面表示

	補正分類	補正額(円)	項目名称
<input type="checkbox"/>	電気料金補正額	548.94	電気料金補正

行追加

行削除

Enability CISの特長②

法人需要家も想定したシステム設計

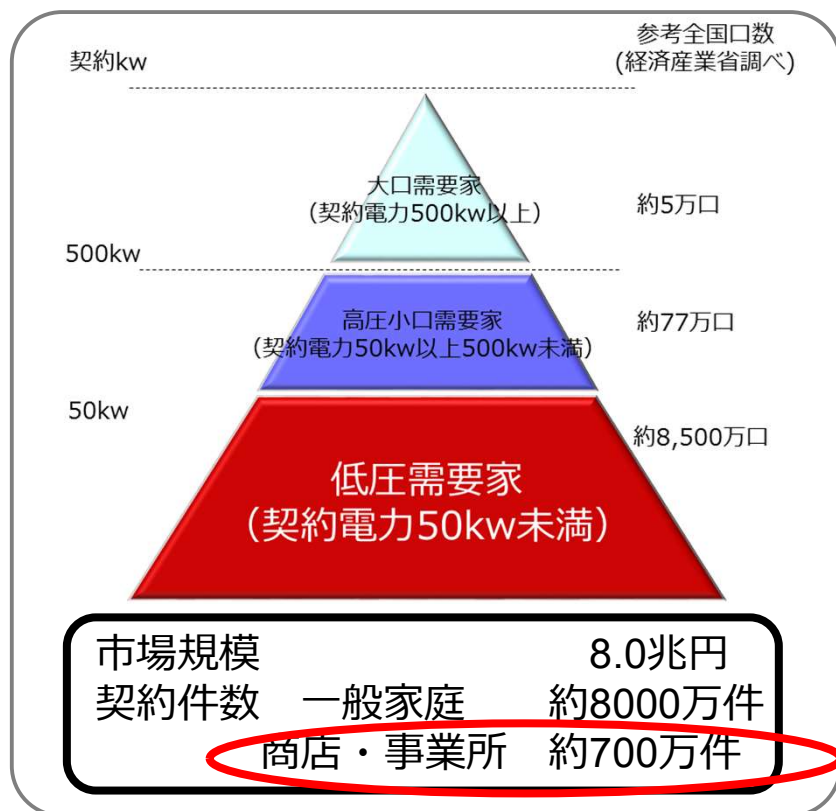
Foresight in sight

- Enabilityは個人需要家のみならず、法人需要家を想定したシステム設計となっております。
- Enabilityは特に請求収納業務におけるイレギュラー処理を効率的に処理する事が可能となります。

例えば、

- ✓ 1需要家複数施設を想定 ⇒複数施設のまとめ請求機能（本社にて全支社店の請求を一本に）
- ✓ 振込みによる料金回収を想定 ⇒不明入金 of 紐つけ & 消込処理、入金額過不足時の処理

自由化された市場規模



法人需要家に想定されるビジネスシーン例

No.	業務内容
1	指定口座以外の口座への振込み、もしくは店舗に直接現金を持参された際に請求と紐付け消しこみする
2	不明入金を請求と紐付け消しこみする
3	請求した金額より入金された金額が不足していたが、小額（振込手数料分）な為に経費で充当する
4	請求した金額より入金された金額が多かったため、次回の請求金額より割引を行った。
5	入金遅延により督促対象となったが、高圧等の他ビジネスにおいて優良顧客であることを考慮し、解約対象外とする

イレギュラー処理のシステム対応による
業務効率化

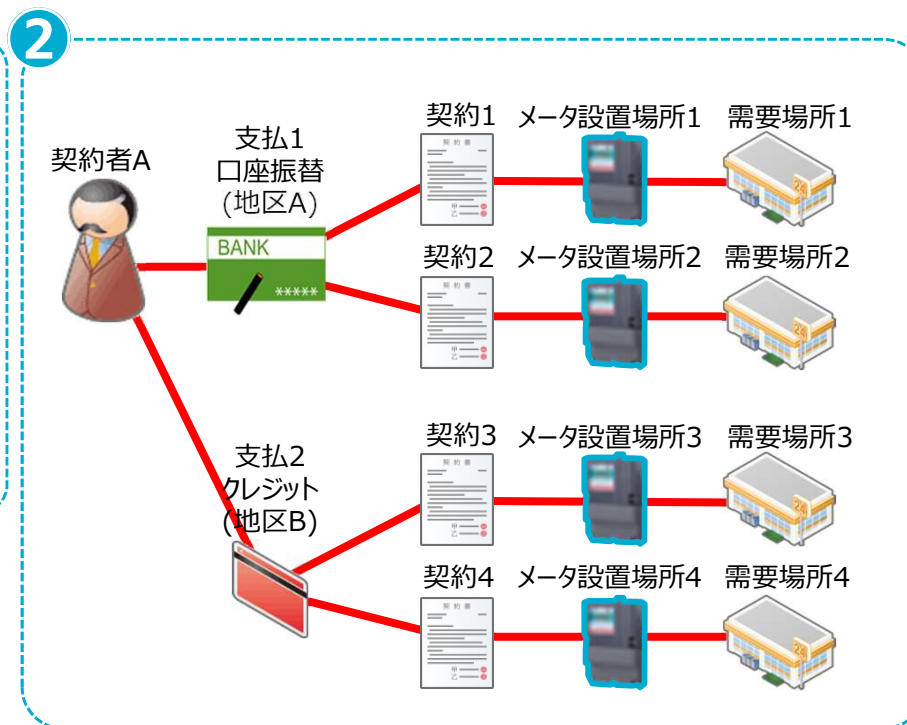
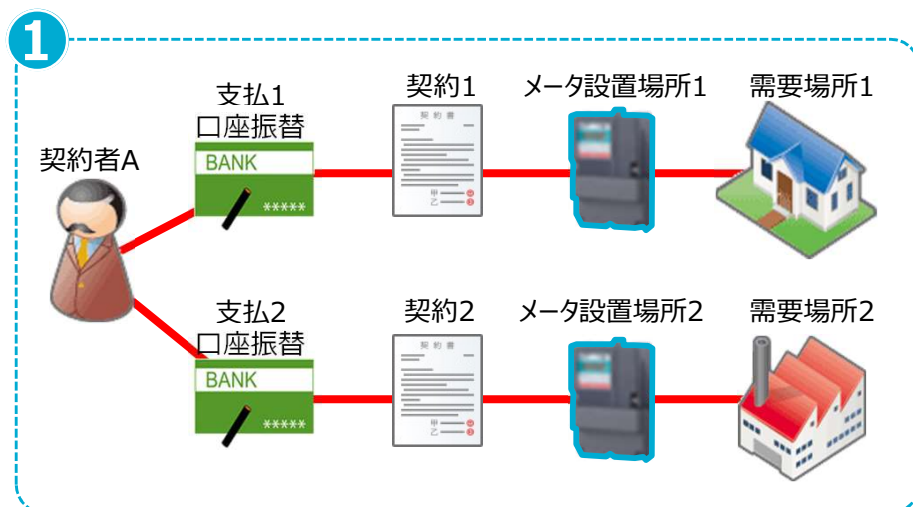
Enability CISの特長②

法人需要家も想定したシステム設計

- Enability CISでは、需要家(=【契約者】)情報を軸に、請求先(=【支払】)、【契約】、【メータ設置場所】、【需要家場所】の5大要素(5エンティティ)を紐づけて管理いたします。

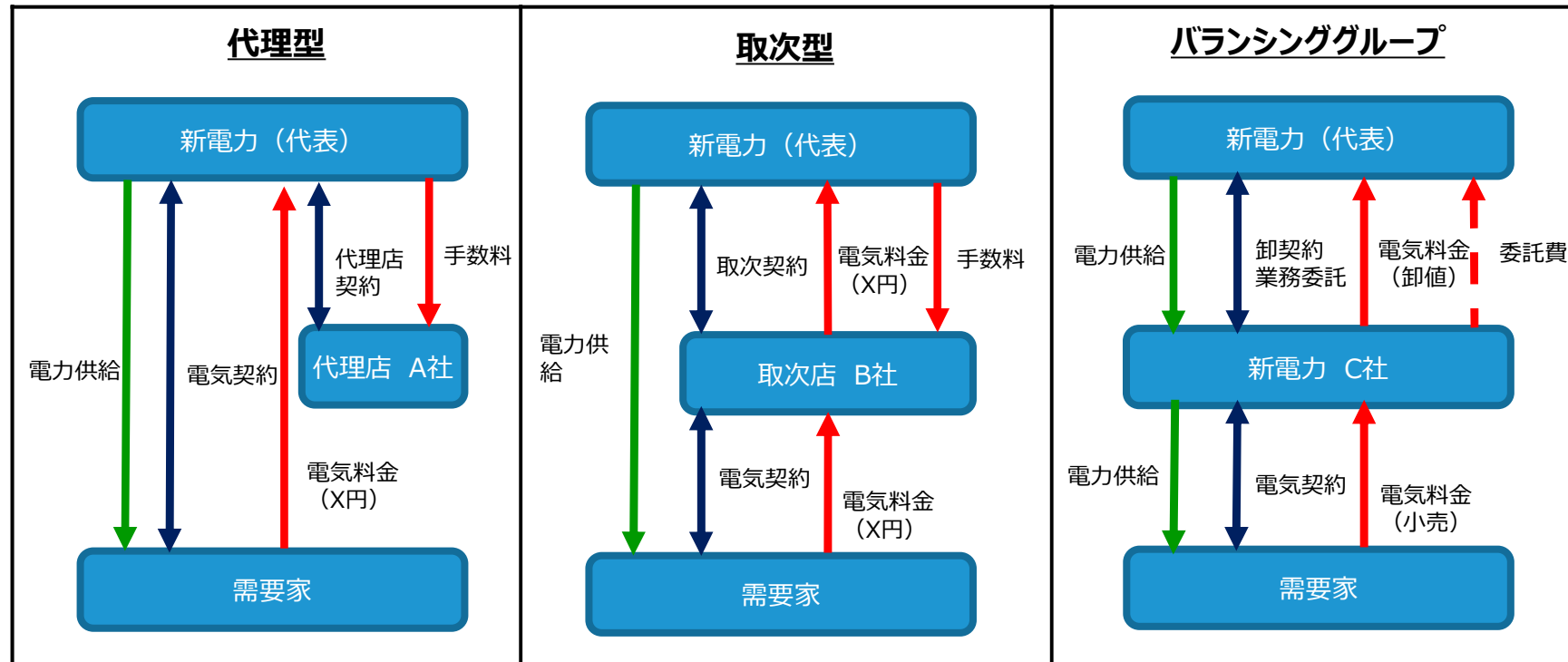
■ 1需要家に対し、複数の支払、契約(供給地点)の管理を可能とします。

- ① 店舗経営などの**法人需要家で、複数施設を有する顧客の管理が可能。**
- ② 店舗毎に支払方法を替えたい、管理地域ごとに請求を分けて欲しいなど、**需要家からの要求に柔軟に対応可能。**



Enability CISの特長③ 代理店・取次店・BGパートナーにも対応した柔軟性

- Enabilityは、代理型、取次型、バランシンググループそれぞれのビジネスモデルに対応しております。
- 今後のパートナー企業との新しいビジネスモデルを構築される場合にも柔軟に対応可能です。



Point

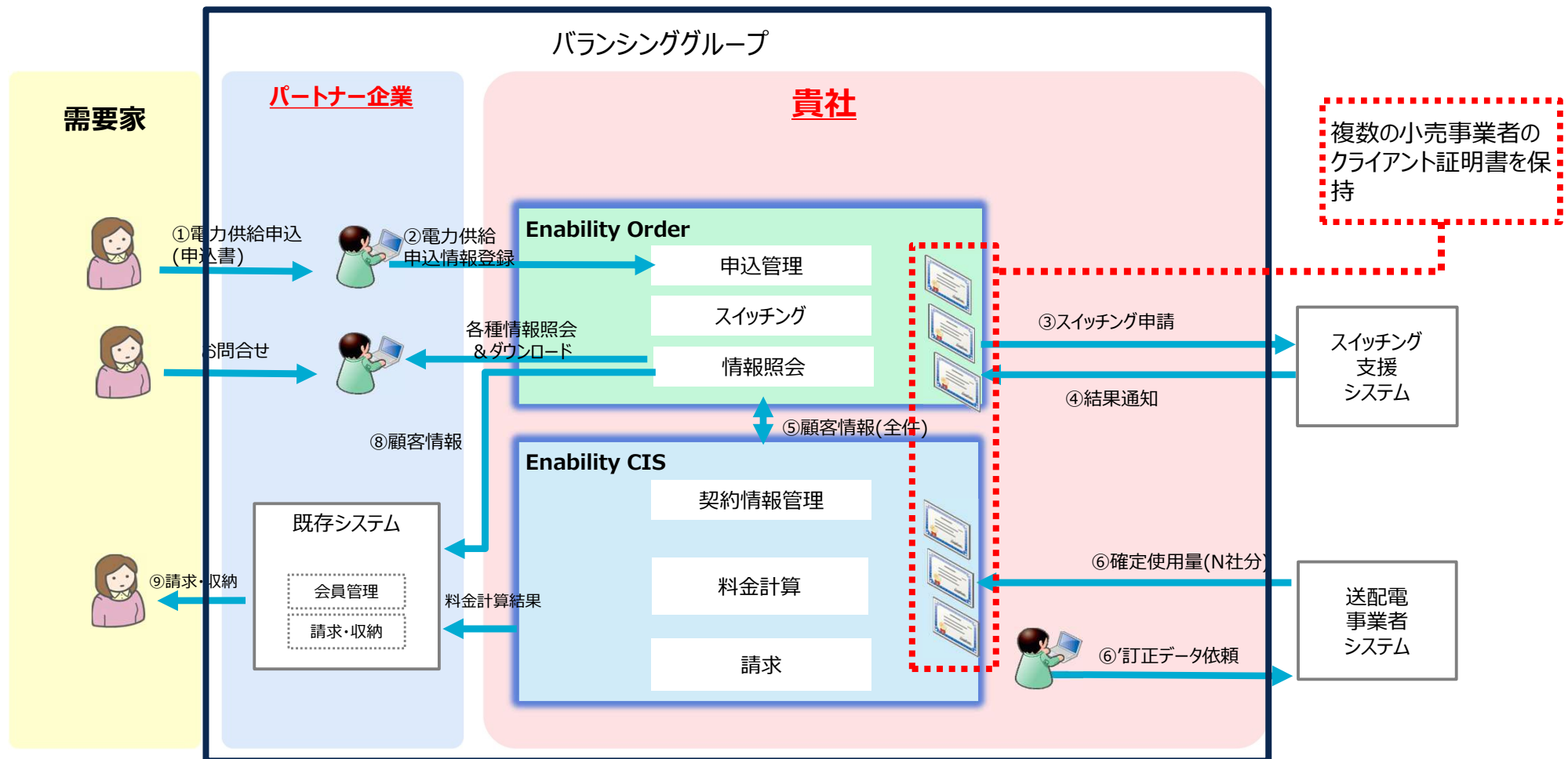
- ・ 今後のビジネスの広がりにあわせて、柔軟に対応できます。

Enability CISの特長③

代理店・取次店・BGパートナーにも対応した柔軟性

Foresight in sight

- Enabilityは1システムで複数の小売事業者・代理店・取次店のスイッチング業務・料金計算業務を実現します。
- Enabilityは複数の小売事業者のクライアント証明書を管理でき、BG内のパートナー企業のスイッチング業務・料金計算業務を1システムで対応可能です。
- BG内のパートナー企業分の確定使用量を送配電事業者より取得し、小売電気事業者毎に料金計算を行い、料金計算結果をパートナー企業に提供する事が可能です。貴社にて料金計算業務を業務受託する事で、パートナー企業は需要家獲得に傾注し、システム投資を最小化する事が可能となります。

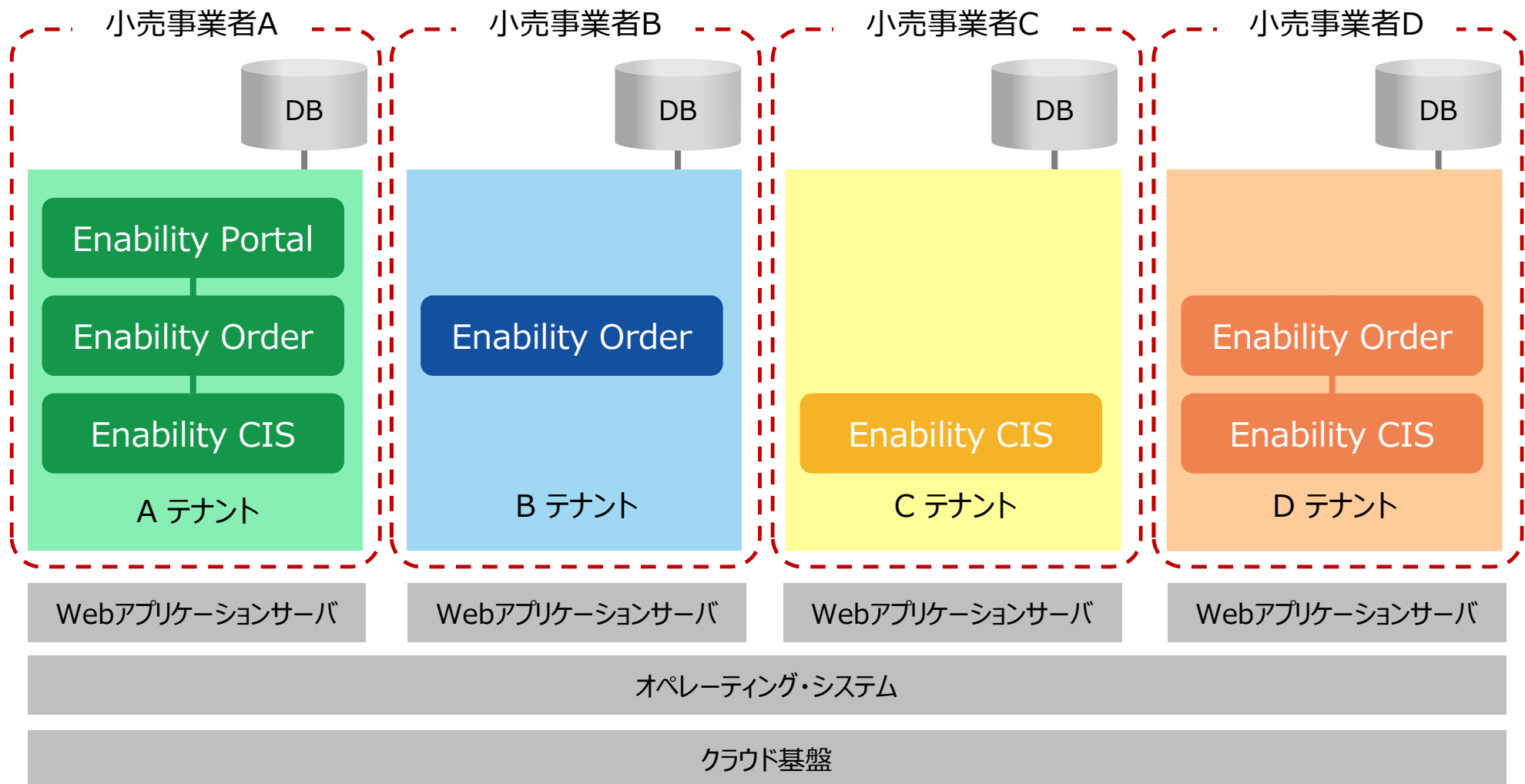


Enability CISの特長④

クラウドサービスながら高い自由度

Foresight in sight

- Enability CISは、小売事業者様ごとにアプリケーションが独立しています。
 - 小売事業者様の独自要件を満たすために、アプリケーションのカスタマイズが行えます。
 - 各小売事業者様任意のタイミングでリリースが行えるため、迅速なサービス展開が可能です。





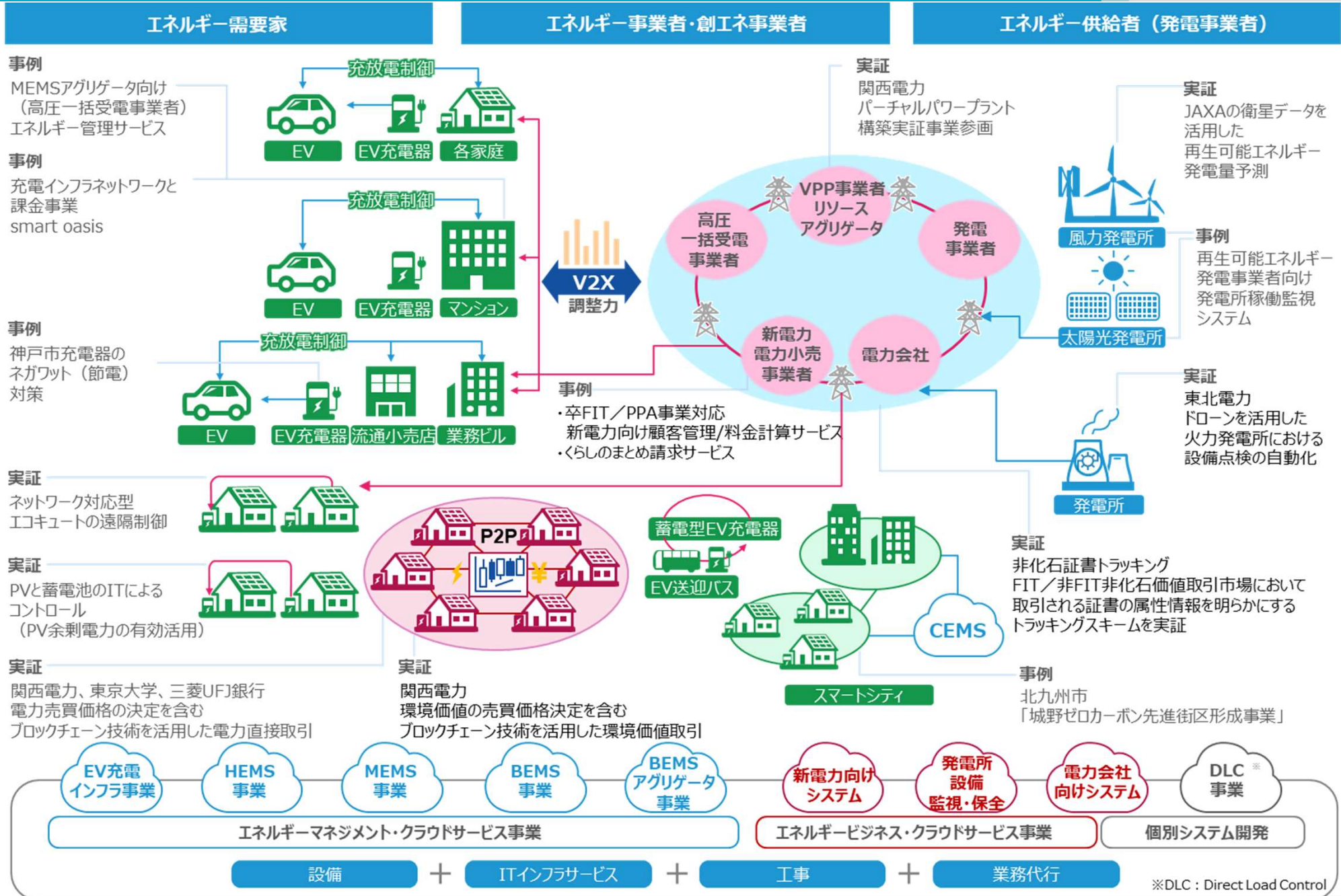
Enability拡張機能について

- Enability商品のロードマップは以下のとおりです。2019年9月に低圧卒FIT発電買取機能をリリース、2020年5月には、非化石証書の電力量認定申請に必要な情報管理／出力機能をリリースしました。今後も並行して市場動向や国の施策、各種制度変更などを勘案しながら、提供する機能について、拡張を続けてまいります。





【ご参考】エネルギー関連ビジネスのご紹介



Foresight in sight

UNISYS